



ほけんだより 2月号

2025年度 2月2日発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ1

先月は、おゆうぎ会で成長した姿を見せてくれた子どもたち！今月も元気いっぱい過ごせるように見守っていき
たいと思います。2月は一年の中でも気温差が大きく、咳や鼻水などの症状の出る子が増えてきます。ご家庭でも
手洗い・うがいや、こまめな水分補給と適宜換気をしながら感染対のご協力をおねがいいたします。

《先月の感染症情報》

お腹の風邪って？

～感染性胃腸炎について～



お腹の風邪とは、細菌やウィルスが胃腸に入り込むことでお腹の調子が悪くなり、下痢や嘔吐が起こる症状を指しています。お腹の風邪は、正式には「感染性胃腸炎（ウイルス性胃腸炎・細菌性胃腸炎）」と呼びます。ウィルスが原因で胃腸に炎症が起こるものがウイルス性胃腸炎であり、細菌が原因で胃腸に炎症が起こるものが細菌性胃腸炎です。

嘔吐や下痢の症状がある時は、脱水になりやすいのでイオン水等を細目にあげましょう。

登園の目安としては、胃腸炎の症状（嘔吐や下痢）が治まり、食欲があることです。下痢や食欲低下が治まっていない状態で登園すると、こども自身も辛いですし、感染を広げてしまう恐れがあります。

胃腸炎にかからないためにも、手洗いをしっかりと行い予防に努めましょう。



節分の時期には子どもの「誤えん」に気を付けましょう！



節分の行事で、豆まきをしたり恵方巻を食べたりするご家庭も多いと思います。これらの食べ物が誤って気管や気管支などに入ってしまう「誤えん」事故がおきており、注意が必要です。豆やナッツ類を原因とする子どもの誤えん事故は入院を要する事例が多く、危害の程度が高いという特徴があります。

食品による窒息は特に5歳以下が多く、その理由としては、子ども側と食品側それぞれに要因があります。走り回りながら食べた、何個もほうばってしまった、などの食事時の行動が原因と考えられる事例もあります。

正しく知って実践したい、窒息につながりにくい“食べ方”

- 水分を摂ってのどを潤してから食べる
- 一口にたくさん詰め込まない
- よく噛んで食べる
- 食べることに集中する
 - 口の中に食品があるときはしゃべらない
 - あおむけに寝た状態や、歩きながら、遊びながら、食べない



誤えんしやすい食べ物の形態もあるので、気を付けましょう！